

2023年度点検・評価シート

- ・評価の視点【基礎要件●】は法令要件、その他基礎的要件の充足状況を判断する指針
【評価要件○】は基礎要件以外で、大学基準協会が大学基準に照らし定めた指針
- ・評価の視点に“※”が付されている場合は、大学基礎データ、基礎要件確認シート及び別途収集する根拠資料により、点検・評価し、適切性を判断してください。
- ・★のある欄は、必須記述欄です。ただし、該当なしと判断した場合は「なし」と記入してください。
- ・◆のある欄は、各点検・評価項目の内容について、問題点を記入してください。（ない場合は「なし」と記入）

I【現状】原則2023年5月1日現在の状況で回答してください。

対象部局	17 政治学科	責任者	萩原稔		
基準5	学生の受け入れ	自己評価	A		
★基準5の自己評価の理由を簡潔に解説してください。					
<<回答>> 学生の受け入れ方針に基づき入試を実施しており、学生募集や入試の運営体制について適切であると判断される。また、さらに収容定員を継続的に確保するための方策を進めている。					
点検・評価項目(1)	5-1 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。				
★<学生の受け入れ方針>（記入してください。） 政治学科は、教育研究上の目的、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針に基づき、以下の能力を備えた受験生を各種選抜試験によって受け入れる。 1 知識・技能 1) 政治学を学ぶのに必要な社会科学科目の内容に興味を持ち、十分な学力を身につけている。 2 思考力・判断力・表現力 1) 知的好奇心を持って、社会の仕組みについて考えることができる。 2) 自分考えていることを他人に伝えたり、意見交換しようと努力できる。 3) 自分の考えを伝え、他人の考えを理解するために必要な文章力を身につけている。 4) 現象を多面的、多角的に捉え、迅速かつ確かな判断を下すことができる。 3 主体的に学習に取り組む態度 1) 自身の住む地域から世界の政治や社会の動きまで幅広い関心を持っている。 2) 外国語や周辺諸分野の学修にも意欲的で、文化や生活習慣の壁を乗り越え、活躍できる。				変 更	有（ ） 無（○）
評価の視点1※ 【基礎要件●】	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を設定し公表している。根拠資料→A1-6-1Web サイト 大東文化大学の基本方針、基礎要件確認シート 15				
評価の視点2※ 【基礎要件●】	方針には、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像を踏まえて設定している。根拠資料→A1-6-1Web サイト 大東文化大学の基本方針				
評価の視点3※ 【基礎要件●】	入学希望者に求める水準等の判定方法が明確に示され、公表している。根拠資料→A1-6-1Web サイト 大東文化大学の基本方針				
◆学生の受け入れ方針の内容や、公表の仕方について問題点があれば記述してください。（ない場合は「なし」と記入）					
<<回答>> なし					
点検・評価項目(2)	5-2 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。				
評価の視点1※	学生の受け入れ方針に基づく学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定している。根拠資料→A5-1Web サイト 入試情報、B5-2 入学試験要項（一般、公募制推薦、自己推薦、社会人、編入学、科目等履修生、外国人留学生）、A5-4* 大東文化大学入学者選抜試験規程				
評価の視点2※	授業料その他の費用や経済的支援に関する情報提供を適切に行っている。根拠資料→A5-1Web サイト 入試情報				
評価の視点3※	学科ごとに入試に関わる委員会等を設置し、入学者選抜実施のための運営体制を整備している。根拠資料→A3-11* 入学センター規程、B5-15 部局内入試委員会名簿				
評価の視点4	公正な入学者選抜を実施している。根拠資料→A5-3Web サイト、A5-4* 大東文化大学入学者選抜試験規程				
★項目(2)5-2①公正な入学者選抜を実施するため、どのような取り組みを行っているか、根拠資料を用いて回答してください。					

<<回答> 各種入試に際しては、入試の担当者に委ねず、学科協議会の議を経て可否を決定している。		<<資料名> 17-C5-1：学科協議会議事録 (2022年度第7～11・13回) ※入試合否判定
★項目(2)5-2②オンラインによる入学者選抜を行う場合における公正な実施(オンラインによる入学者選抜を検討していれば、実施する場合における課題やメリット等を記述してください。)		
<<回答> 現時点において、本学科ではオンラインによる入学者選抜は実施していない。また、検討の予定もない。		
評価の視点5	入学を希望するものへの合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施している。(一般入試及び多様な入試への対応) 根拠資料→A5-3Web サイト、A5-4*大東文化大学入学者選抜試験規程	
★項目(2)5-2③オンラインによって入学者選抜を行う場合における公平な受験機会の確保(受験者の通信状況の顧慮等)(オンラインによる入学者選抜を検討していれば記述してください。)		
<<回答> なし		
◆学生募集及び入学者選抜について問題点があれば記述してください。(ない場合は「なし」と記入)		
<<回答> なし		
点検・評価項目(3)	5-3 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理している。	
評価の視点1※ 【基礎要件●】	学科の入学者数は、入学定員に対して適正な数である。 注：定員管理の指針 入学定員に対する入学者数比率(5年平均) 定員超過→実験実習を伴う分野 1.20以上(改善課題)、1.25以上(是正勧告) 上記以外の分野 1.25以上(改善課題)、1.30以上(是正勧告) 定員未充足→0.90未満(改善課題)、0.80未満(是正勧告) 根拠資料→大学基礎データ表2、基礎要件確認シート16	
評価の視点2※ 【基礎要件●】	学科の在籍学生数は、収容定員に対して適正な数を維持している。 注：定員管理の指針 収容定員に対する在籍学生数比率 定員超過→実験実習を伴う分野 1.20以上(改善課題)、1.25以上(是正勧告) 上記以外の分野 1.25以上(改善課題)、1.30以上(是正勧告) 定員未充足→0.90未満(改善課題)、0.80未満(是正勧告) 根拠資料→大学基礎データ表2、基礎要件確認シート16	
評価の視点3	収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応	
★項目(3)5-3 収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足がある場合、当該部局としての改善策(今後実施予定のものも含む)根拠資料を用いて回答してください。		
<<回答> 2023年度入学生に関しては定員を下回ったが、在校生全体で見れば、収容定員について現時点で問題はない。来年度の学校推薦型選抜(指定校)に関しては、新規指定校を増やすなど、定員の充足を図る努力を行っている。		<<資料名> 17-C5-2：指定校更新表(2023年度第2回法学部教授会、2023年5月10日)
点検・評価項目(4)	5-4 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	
評価の視点1※ 【評価要件○】	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を実施している。 根拠資料→B2-51 2023年度点検・評価シート B2-52 会議録(または準ずるメール記録)：(開催日)2023年度自己点検・評価について	
評価の視点2 【評価要件○】	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っている。	
★項目(4)5-4 改善・向上に向けてこれまでに取り組んだこと、現在取り組んでいることがあれば、具体的に回答してください。2019年度以降の取り組みも含めて記述してください。		
<<回答> 新入生を対象に英語と社会科(政治学基礎)のプレイスメントテストを実施し、その成績の優れている新入生の出身校に新たに推薦枠を付与して、指定校の水準の向上を図っている。		<<資料名> 17-C5-3：同上

II 現状を踏まえ、長所・特色として特記する事項（工夫していること）を、意図した成果（目標）を明確にして記述してください。

※注：前年度の取り組みに限らず、過去から継続している事項も含める

長所・特色	指定校の増加、及び水準の向上に加え、2023年度の総合型選抜に際し、オープンキャンパスの体験授業参加を評価の参考とする試みを行う。これにより、専門領域に関する興味・関心を強くもつ学生の入学が見込まれる。
--------------	---

III 今回の点検・評価の結果、明らかになった新たな問題点や課題について、今後の方針や計画を含めて記述してください。

※注：2023年度事業計画としてアクションプランを策定しているものは除く

問題点・課題	今年度の試みがどのような効果をもたらすかを受け、検証を進める。
---------------	---------------------------------

IV 【改善計画（事業計画）】

カテゴリ	計画番号	B票No. or 開始年度	改善計画 (アクションプラン)	内容(改善を要すると判断した根拠)	目標の評価指標	目標値	年度計画

V 【内部質保証委員会による点検・評価】

2022年度<所見>	<p>学生の受け入れ方針については、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえて方針を設定し、公表しています。また、学生の受け入れ方針に基づく学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定するとともに、学科に入試委員会を設置しており、入学者選抜実施のための運営体制は整備されていることは評価できる。</p> <p>また、収容定員を充足していることから、学生の受け入れに関して良好な状態と評価できる。また、「新入生を対象とした英語と社会科（政治学基礎）のプレースメントテスト」の実施や、その成績を元にして指定校を検討されていることは、入学者の実態を検証しつつそれを入学者選抜に活かすという取り組みとして評価できる。今後、この効果を検証しつつ学生獲得に結びつくことを期待する。</p>
2023年度<所見>	<p>学生の受け入れ方針については、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえて方針を設定し、公表しており、入学者選抜実施のための運営体制は整備されている。</p> <p>2022年度の入学定員充足率1.06が、2023年度は0.96と若干下回り、収容定員充足率は2022年度1.05から2023年度1.03となっているが、入学定員に対する5年平均比率も1.02と安定しており適正であるといえる。</p> <p>また、専門領域に関する興味・関心を強くもつ学生の入学を見込み、指定校の増加、及び水準の向上に加え、2023年度の総合型選抜に際し、オープンキャンパスの体験授業参加を評価の参考とする試みを行う、という新たな取り組みは改善・向上に向け学科が丸となって行う計画として評価できる。今後計画の検証を進められるとのことなので、良い結果となることを期待する。</p>

◆評価の基準について

※各基準の「自己評価」は、各部局の判断に委ねられます。なお、青字部分は、本学としての解釈です。

S	<p>大学基準に照らして極めて良好な状態にあり、理念・目的（教育研究上の目的）を実現する取り組みが卓越した水準にある。</p> <p>（評価の視点に対して、クリアしており、さらに向上させるための取り組みを行っている、または、他部局の参考となるような特色ある取り組みを行っている場合）</p>
A	<p>大学基準に照らして良好な状態にあり、理念・目的（教育研究上の目的）を実現する取り組みが概ね適切である。</p> <p>（評価の視点に対して、クリアしている状況と判断する場合）</p>
B	<p>大学基準に照らして軽度な問題があり、理念・目的（教育研究上の目的）の実現に向けてさらな</p>

	る努力が求められる。
C	大学基準に照らして重度な問題があり、理念・目的（教育研究上の目的）の実現に向けて抜本的な改善が求められる。

<注> 「大学基準」は大学基準協会「大学評価ハンドブック」を参照のこと。

解説にある「大学は云々・・・」については、学部、研究科等の現状に置き換える。

基準5 学生の受け入れ

【大学基準】

大学は、自ら掲げる理念・目的を実現するために、学生の受け入れ方針を定め、公表するとともに、その方針に沿って学生の受け入れを公正に行わなければならない。

（解説）

大学は、その理念・目的を実現するために、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえ、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像、入学希望者に求める水準等の判定方法を示した学生の受け入れ方針を定め、公表しなければならない。また、入学定員及び収容定員を適切に定め、公表しなければならない。

大学は、その受け入れ方針に基づき、高等学校教育と大学教育との関連、社会人、帰国生徒及び外国人留学生の受け入れ、飛び級、編入学、転科・転部など、国際的規模での社会的要請に配慮し、適切な入学者選抜制度及びその運営体制を整備し、入学者選抜を公正に行う必要がある。

大学は、教育効果を十分に上げるために、入学定員に対する入学者数及び収容定員に対する在籍学生数を適正に管理しなければならない。

大学は、学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価し、その結果を改善・向上に結びつける必要がある。